

Weekly Report



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー:変化をもたらす
(ROTARY:MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創立:1980年(昭和55年)1月10日
会長:稲葉 徹
幹事:大嶽 達郎
クラブ広報委員長:鈴木 健司
例会日:毎週木曜日PM12:30～
会場:ヒルトン名古屋

事務局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

第1826回例会

～水と衛生月間～
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2018年3月29日(木) 晴れ 第34回 例会及びI.D.M.

司会:鈴木淑久会場委員長

会長挨拶

稲葉徹会長

皆さんこんばんは。今回は「花見」についてお話ししたいと思います。日本人にとって「桜」は日本の国花です。桜は日本人がもっとも親しんでいる花でありまして、花見といえは桜をみて楽しむことを指すというのが古来からの常識となっています。



花見の起源については二説あるようです。まず一つ目の説は、奈良時代の貴族の間で行われた「花宴」に由来する説です。中国の唐王朝の文化にならって梅の花を觀賞しながら歌を詠む催しであったのが、平安時代に入り嵯峨天皇が花宴を催したとされ、この時に桜を愛でるようになったようです。もう一つの説は、奈良時代以前にさかのぼり、古代農村で稲の成長を司る神様が信奉され、桜が神様の到来(田植えの始まり)を告げる重要な役割を果たしていたことから、桜の木にお供え物をして一年の豊作を願ったことに由来するという説です。

いずれにしても古くから日本人が桜を愛でる習慣には長い歴史があったわけで、平安時代の桜とは山桜のことで、私たちになじみ深いソメイヨシノは大島桜と江戸彼岸の一代雑種とされ、江戸時代の江戸近郊の染井村(現在の豊島区駒込あたり)で作られたと言われております。ご存じのように桜の開花予想は、このソメイヨシノの標本木をベースに、毎年3月はじめに気象庁が発表します。3月下旬から4月にかけて桜前線(同じ日に開花が予想される地域を結ぶ線のこと)が日本列島を北上して、花の便りが待ち遠しい日々が続きます。私も時間を作って日本全国の満開の桜を追って南から北へと旅を楽しみたいものだという夢を持ってありますが、なかなか実現できないであります。是非一度チャレンジしたいと思います。

この花見の季節の楽しみの一つに桜餅があります。桜餅の元祖は江戸時代から続く東京向島の長寿寺の桜餅です。300年の歴史が桜餅にあると聞きますと、お抹茶とともに桜餅を食べて花見に行こうという気になります。酒をくみかわしながらの花見もよし、酒をのまず桜餅を食べて花見をするのもよし、皆で花見に行きたいものだと思います。

さて、本日は、I.D.M.(インフォーマル・ディスカッション・ミーティング)においてクラブの「委員会についての規定、RCの目的の定義」という大変重いテーマについて、各テーブル毎のグループに分かれて討議頂きます。クラブにとって重要なテーマについて、きたなく話し合ってもらえればまさにI.D.M.の趣旨にかなうと思います。各テーブルにはクラブ奉仕委員会のメンバーが一人いますので、何でも非公式にお酒を飲み、食事しながらディスカッションして頂ければ有意義なI.D.M.になると思います。

出席報告

鈴木雅登出席委員

会員64名 出席44名(出席計算人数47名)

出席率 81.5% 3月22日は補填により90.4%

ニコボックス

鈴木雅登ニコボックス委員

- ・長女が医師国家試験に合格、無事卒業しました。 森 裕之さん
- ・3月25日は妻の誕生日でした。お花ありがとうございました。 堀 慎治さん
- ・妻の誕生日にお花ありがとうございました。 牧野 智繁さん
- ・妻の誕生日に花をありがとうございました。花のおかげで思い出して助かりました。 村上 学さん

- ・桜花爛漫の季節を迎えました。昨日は山崎川、今日は東山植物園で花見をして来ました!きれいな物を見る事は本当に素晴らしい事ですネ!これで又寿命が伸びた様に思います。 野崎 洋二さん
- ・本日はI.D.M.です。クラブにとって重要な事項ですので、皆様自由に意見を言ってください。 稲葉 徹さん
- ・蓬萊軒鈴木さん、お世話になりました。 渡邊喜代彦さん
- ・昨日は、高村さん、内田さん、堀さんにお世話になりました。 鈴木 淑久さん
- ・本日はI.D.M.です。よろしくお祈りします。 梅村 昌孝さん
- ・先週の例会を欠席しまして、遅ればせながら台北延平41周年記念例会に参加いただきありがとうございました。 湯澤 勇生さん
- ・桜の花が咲きました。 岩田 吉廣さん

幹事報告

大嶽達郎幹事

- ・次週4月5日(木)13:40分から第10回理事会をヒルトン名古屋4F「梅の間」にて行います。
- ・明日までに、当年度委員長で、事業報告を提出されていない方は、お早めに提出をお願い致します。

I.D.M.

梅村昌孝クラブ奉仕委員長

挨拶:梅村昌孝クラブ奉仕委員長



本日はI.D.M.にご出席頂きありがとうございます。本日のI.D.M.のテーマは、2016年4月の規定審議会で採択された制定案の内の2つ、「クラブ内の委員会構成について」と「RCの目的の定義」についてです。今回の規定審議会で審議された立候案は110案件にのぼりました。その内採択された制定案は、80案件以上あります。今回は、会員増強の為にクラブに柔軟性を持たせる方向でルールの変更が図られました。入会金の廃止、例会開催の独自制度化、出席規定などもクラブに任せるといった案件が多く採択されています。これらの採択された制定案は、既にRIの標準定款で採用されています。従って、現在私達のクラブ計画書にある定款は、40力以上変更されました。これらの内容は昨年度より長期ビジョン委員会にて、会長、幹事、会長エレクトロ、副幹事を交えて話し合われました。そして、長期ビジョン委員長から二度にわたり、会長・幹事に宛てて答申書を提出しました。その中の重要案件の2つを、本日はテーマにさせて頂いています。なかなか取っつきにくいテーマではありますが、よろしくお祈り致します。

I.D.M.趣旨説明:近藤雄亮長期ビジョン委員長

本年度長期ビジョン委員会・委員長を務めている近藤です。よろしくお祈り致します。2016年4月の規定審議会で、47件の制定案が採択されました。2016年7月1日には、これらは施行されています。そのうちの2件について、テーブル討論会という形で、会員の皆様方のご意見を頂ければと思います。第一回目のクラブ討論会は、2017年2月2日に行われました。1つ目のテーマは「RIや地区の情報収集や周知徹底について」、また、予算を考慮に入れた、組織とクラブ会員数のバランスについてです。2つ目は「青少年奉仕関連の奉仕事業の実態の把握について」、3つ目は「広報活動が十分に成されているかどうか」、4つ目は「奉仕事業の意義・在り方について」です。これらのテーマについて話し合い、大変活発なご意見を頂きました。

昨年10月19日に行ったクラブ討論会でのテーマは「多様性を考慮した会員増強」でした。様々なご意見を頂きましたが、2020年、名古屋瑞穂RCは40周年を迎える事と、IMのホストを務めるという事を考慮に入れ、スムーズな予算執行の為、基本的に80人以上の会員数が必要だという認識を共有できたと思っています。

今回はクラブ奉仕委員会とコラボして、I.D.M.の中で討論を進めていきます。内容については、資料を2016年4月の規定審議会で採択され、RIの定款に規定されています。まず「RCの目的の定義」は、「RI定款・第三条・RCの目的」の項目です。これは、クラブに柔軟性が与えられた今、RCの運営責任をしっかりと考え、軸足を持つことが必要だと思っています。

もう一つは、「RC内の委員会構成について」"RI定款・第13条・第7節"の項目です。この件について少し付け加えますと、2017年6月のRI理事会で次の事が決定されました。いくつかありますが、その内のRC・地区関連事項を報告します。地区リーダープランが次のような形で修正されました。2019年7月より有効となります。1つ目は「会員増強委員会と地区新クラブ結成推進委員会を地区会員増強委員会に統合する」、2つ目は「会員特典委員会を無くす」、3つ目は「職業奉仕委員会と青少年奉仕委員会の責務を社会奉仕委員会に統合する」、4つ目は「RC地域社会共同体(RCC)・RC親睦委員会の責務を社会奉仕委員会に統合する」、5つ目は「地区クラブ奉仕委員会を無くす」の5つです。これらを振り返ってみると、RC草創期には、まず、「相互扶助」いわゆる職業をお互いに助け合おうという考えの元、始まりました。そこからRCの色々な規則や例会等について話し合い、職業奉仕・クラブ奉仕委員会がスタートしました。続いて社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会が出来、5大奉仕委員会となりました。責務の点から考えると、社会奉仕委員会に統合するという事は、ある意味草創期の考えに立ち返っているという考え方ができます。I.D.M.の中で、「クラブの目的、そして組織がどうあるべきか」を屈託なく話し合っただけであれば有り難いです。

今、RIが急変化しています。そしてRCにも大きな流れが出来つつあります。それは、新クラブ設立の件です。この件についてはガバナーの責務になっていきますが、新クラブの内容を紹介します。岡崎RCをホストとする「愛知三州RC」というのが設立されました。このRCは、発足時30名で、3名が岡崎RC出身、残り27名はほとんどRCの事を知らない方達です。その内RAの会長経験者が3人いるそうです。RCの新改革に反対派が多い、歴史あるRCに属する古くからの会員達ではなく、既存のRCの在り方に捉われない方々をメンバーとし、RCに改革をもたらそうと結成されたのが、「愛知三州RC」です。「愛知三州RC」は、月に二回例会が行われ、通常例会に加え、Web上での例会も行っています。さらに、東京で登壇されている方の卓話を、ネットを通じて例会にて発表してもらおうという事も行うそうです。私としては、名古屋瑞穂RCに長い間在籍している事もあり、考え方としては保守的です。新しいRCを作って考え方を改めるのではなく、自分達がお世話になったRCで、今日のような時間を設け、ざっくばらんに皆と話し合いながら、今後のRCの方向を決めていくのが良いのではないかと思います。40代・50代・60代前半の会員達が、10年・20年先には、その方達が所属するRCが衰退するのは非常に良くない事だと思います。様々な議論があって色々な意見がある。それが多様性を誇るRCの集まりだと思っています。様々な意見を否定するのではなく、受け入れ、話し合い、各RCを良い方向に前進させていくべきだと思います。そういった意味で今後、自分達が所属するRCのあるべき姿の方向性について話し合っただけだと思います。たまたま、RIが我々に2016年の規定審議会で与えたもの、その焦点・ポイントは「柔軟性」です。このポイントを踏まえ、我々名古屋瑞穂RCに合わせた物を作っていき事が大事です。「ゆで蛙」という教訓があります。蛙を暑いお湯に入れると驚いて飛び上がります。しかし、常温の水に入れて徐々に水を熱すると、その温度変化に気づかず茹で上がって死んでしまうというものです。我々も、何の行動も起こさず過ごすだけではこの「ゆで蛙」のようになってしまいます。多様性のある意見をたくさん出し、今日この時間を有意義な時間にして頂きたいと思っています。



I.D.M.風景



例会のご案内

- 今週の卓話 4月5日(木)
テーマ: 熱田界隈を盛り上げるあつた宮宿会について
卓話者: あつた宮宿会会長 鈴木淑久
- 次週行事 4月8日(日) 春の家族会
場所: 蒲郡クラシックホテル
- 次々週 4月12日(木) 振替により例会変更